

金沢市長 3期
11年の経験
 を県政に!

これからも
 現場に
 一番近く

移動知事室を
 公用車として
 石川県内中
 公務に走り回ります

Promise for the Future
 of ISHIKAWA



未来への約束

詳しい政策は▼

山野の声は▼



プロフィール

昭和37(1962)年3月30日生まれ
 長町小・野田中・金沢泉丘高・慶應義塾大学文学部卒、ソフトバンク株式会社を経て、平成7(1995)年4月、金沢市議会議員に、初当選。(4期務める)平成22(2010)年11月、金沢市長選挙に、初当選。その後3期連続当選。市長として行政経験は11年目を迎える。
 家族は妻、一男一女。

無所属 **59**歳

山野ゆきひろ

「県民目線」で郷土石川の未来をつくります

県民目線で…**安心な暮らし**
 コロナ禍におけるリーダーシップを発揮し、市町長との意見交換会を定期的を開催することで、オール石川県で一体的な対策を早期に進めます。

県民目線で…**一次産業の価値向上**
 農林水産物の品質向上を目指し、石川農水産物のブランド化をはかることで、未開拓なエリアに向けてトップセールスを推進していきます。

県民目線で…**伝えていく**
 正確な情報を迅速に県民に伝えることは、知事の責務だと考えます。そのために、県民から信頼される行動を心がけていきます。

県民が望むことを実行する

しがらみのない県政

だから出来ることもある

県民目線で…**学びの環境を整備**
 国際化・多様化、少子化を見据えた教育環境の整備に向けて、様々な分野で活躍できる人材を育成するインターナショナルスクールを設置します。

県民目線で…**石川の文化資産を融合**
 2023年に開催予定の国民文化祭をきっかけとして、石川の工芸文化の活用・進展、伝統芸能の継承支援と発展を融合するための仕組みをつくります。

県民目線で…**教育の場の支援**
 コロナ禍で苦悩する子供たちや社会的弱者の方々、その周辺で働く人達に向けての取り組みを迅速に進めます。

県民目線で…**全域の産業構造を改革**
 県内全域の交流人口を増やし、地域の人口減少を押さえるために積極的に新しい産業の芽を育て、石川で働くことが幸せとなる産業構造を創りあげていきます。

県民目線で…**県庁の働き方改革**
 県内企業の職場環境改善のモデルケースとして県庁の働き方で様々な取り組みを行い、そこで生まれた成果を県内企業に反映していきます。

